

リレー記事 No.99

## エコファミリー募集中！

福岡県では、県内に在住する世帯を対象に「エコファミリー」を募集しています。

エコファミリーに登録した家庭は、電気やガス、水道などの省エネ節電に取り組みます。その後、結果を報告することで、県内の協賛店の割引特典が得られたり、金券の進呈などのお楽しみもあります。

申し込み窓口は、各市町村環境担当課や福岡県環境部環境保全課ですが、ネットでも気軽に応募できます。登録した方は、ぜひ「ふくおかエコライフ応援 book」を利用してください。毎月の使用量を書き込むシートや、省エネ、節電の簡単にすぐ取り組める方法から、ちょっとハードルは高いけど頑張るとググッとエコになる方法まで解りやすく記載しています。



▲募集チラシ

たとえば

### 家電で一番 電気を使う冷蔵庫の場合

#### 【かんたんエコ】

- ① 冷蔵庫中を整理し詰め込みすぎない。
- ② 冷気を保つため、開閉を少なくする。

#### 【も~ちょっとエコ】

- ③ 温度を季節に応じて調節する。
- ④ 冷蔵庫に入れなくてもいい根菜類や乾物は常温保存する。

#### 【もっと×2エコ】

- ⑤ 10年前の冷蔵庫は積極的に省エネ型に買い換える。



家族みんなで!



東日本の震災以降、電力不足の経験から、どの家庭でも電気の使いすぎがないような工夫をされているのではないのでしょうか。「これ以上はどうしたらいいのかな?」と持っている方も、この冊子の中の具体的なやり方や、おおよその削減量の目安を見ることで生活の見直しにつながると思います。

エネルギーなしに私たちは今の快適便利な生活を送ることはできません。でも、少しの見直しや工夫で、大切なエネルギーの使用量を減らすことは可能です。最後にはちょっとお楽しみもある「エコファミリー」の登録をしてみませんか?

## ご寄付を受けるからこそ できるようになったこと ～しろくまプロジェクト～

寄付で運営する小学校への体験型環境教室プレゼント企画（しろくまプロジェクト）の開始から3年目。エコけんでは10年以上前からずっと学校への出前教室は行っていましたが、皆さんからご寄付を受けたからこそ生まれた効果などについて、いくつか整理してみました。



ペットボトルロケット教室

### ① 教室の質が上がりました

しろくま教室は単発の実施ですが、事前に学習の流れにそった内容を先生方と検討することで、効果が高まりました。また、教具等の試作検討により教具・教材をより良いものに改善することができます。子ども達は、自分たちを大切に思ってくださいの方々の存在を知ること、学習への意欲を高めています。

### ② 福岡県下に活動が広がりました

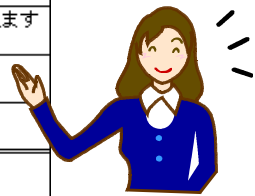
学校への案内をたくさん郵送することができるようになったことで、広範囲の学校から依頼を受け、数多くのしろくま教室を実施することができるようになりました。これはご寄付から、通信費・旅費交通費を支出できるおかげです。

### ③ 学校から気軽に依頼いただけるようになりました

エコけんという外部支援の存在を知っていただけたことや、教室実施に必要な消耗品費等の費用負担を心配されないで済むことで、環境学習実施にかかる心理的ご負担が少ないと感じます。小学校での環境教育の持続可能性が上げれば何よりです。

H26決算			
収入	寄付金217口	217,000	14校で計16回の実施
支出	教材開発費	60,800	教具・教材試作・製作費
	旅費交通費	40,450	うち合わせ訪問を含む
	通信費	64,093	主に募集要項送付郵送料
	消耗品費	100,368	体験に必要な消耗品、プレゼント用しろくまグッズなど
	広報費	1,607	Facebookでの広報
	雑費	3,260	振り込み手数料
	計	270,578	

「しろくまプロジェクト」の前年度決算です



多くの方のご寄付を受けることで、責任を胸にスタッフは更に気を引き締めております。また年々、学校からのしろくま教室の依頼は増加中です。どうぞ、今後もしろくまプロジェクトへの寄付のご協力をよろしくお願ひします。

※しろくまプロジェクトへのご寄付は1口1000円からです。3口以上のご寄付は税の還付対象となります。詳しくはお問い合わせください。

《S》

## 福岡県委託事業報告

### 夏休み親子リサイクル探検隊 《福岡県3R協働推進事業》

親子で3R (Reduce、Reuse、Recycle) を学ぶ、バスツアーを企画・運営しました。エコけんの強味を活かせる事業です。

- 見てみようコース (7/29実施)  
創光リサイクル～ヤクルト福岡工場
- やってみようコース (8/6実施)  
イオンモール福津～エコロの森



▲創光リサイクル

各々のコースで、ごみ分別の大切さ、様々な視点での企業の取組を伝えることができました。昨年に続いて2回目の創光リサイクルでは、ヨダそっくりのエコ爺やクイズなどの工夫で盛り上げて頂きました。また、エコロの森は、見学・体験・講座がセットになっているので、伝わる効果が大きいと改めて思いました。

事後アンケートによると、夏休みのお楽しみイベントとして、また、自由研究や学校の授業の復習（4年生）など参加の目的は様々ですが、みなさん、楽しく3Rを学んだ一日となり、家庭での3R実践に結びつけてもらえたようです。 《Ms. W》

### こどもエコクラブわくわく体験ツアー 《福岡県こどもエコクラブ活動強化事業》

晴れ渡った暑い 8月1日、とても中身の濃い1日になりました。

- 『福岡教育大学』  
～植物と私たちの暮らし～  
大学の田んぼや畑の観察・クイズ  
平尾先生のお話
- 『エコロの森』  
～ごみと私たちの暮らし～  
かえっこショップ  
段ボール迷路 ペットロケット飛ばし  
～エネルギーと私たちの暮らし～  
発電実験と電力調査



▲大学では学生さんもボランティア参加

こどもだけの参加が10人程度あり、寂しい思いをさせるのでは、と心配しましたが、杞憂に終わりました。やはり体験の力。初対面とは思えない仲良しさんになっていました。

心に残ったことは、こどもは、田んぼに入ったこと、おとなは、電力調査だったようです。「なるべく環境に負荷をかけない暮らし」を実践するきっかけになったらいいな、と思います。

《ひらっち》

秋からのとんてん教室 《環境体験講座》 参加者募集中!

使用済みのきれいな雑誌がみも、暮らしに活かす工作

# 紙工作

10/9(金) 13:30~15:00

■場所 エコけんハウス  
■参加費 100円  
■定員 5名

暖かい暮らし方を学ぶ

指あみ マフラーづくり

エコけんハウスにて

11/13(金) 13:30~15:00

■参加費 200円  
■定員 5名  
■エコけんハウス



手作りを通じたエコ暮らしの提案

水引もエコけんハウスにて作ろう

12/11(金) 13:30~15:00

■参加費 200円  
■定員 5名  
■エコけんハウス

12/17(木) 10:00~12:00

■参加費 600円  
■定員 15名

しめ縄づくり

古賀南公民館

ワラを使ってお正月のしめ縄飾りを作ります。

■予約は簡単! お電話で! お待ちしています。

エコけんバスハイク参加者募集!



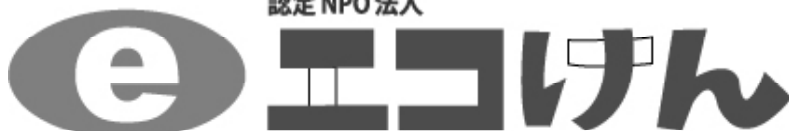
平成27年 12月14日(月) 参加費: ¥300 昼食実費: ¥2,000 富松うなぎ予定

《集合》古賀駅東口(ニビシ側) 9:15 《解散》16:30

①HAKUHAKU(めんたい工場見学)

②みやまスマートエネルギー(電力の地産地消)見学 ③道の駅みやまでお買い物

認定NPO法人



〒811-3101 福岡県古賀市天神1丁目19-21

[TEL/FAX] 092-944-6450

[mail] ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp

[HP] <http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>



ecoken

## 未来を創ろうインタビュー

No.44 古賀清掃工場長

吉永 誠 氏

今年、4月から古賀清掃工場に着任されておられる吉永工場長にお話を伺いました。古賀で育ち、古賀を愛しておられ、発展目覚ましい両隣の福津市・新宮町とは違う古賀のオリジナリティを活かしたまちづくりができればいいとお考えです。また、家庭では、共働きのため、もっと料理や洗濯などの家事もする理想のお父さんになりたいと思われているようです。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. 生活をする上で「豊かさや利便性」ばかりを求めるのではなく、「質素・儉約」に努める心・精神を育てていくこと

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. 食のありがたみを感じ、好き嫌いをせず残さず食べること



未来を創る私の思い

### 一人一人が将来に危機感をもち、 自分と子孫が生き残る術を身につけよう

地球全体でみると、これから途上国が発展し、CO2や資源の消費などは増加傾向にある一方で、日本の人口は減少し、農業の衰退や食料危機は避けられず、気候の変化による自然災害が増えるのでは、という危機感を持っておられました。今の暮らしを手放すことはできませんが、生活の質を高めつつ、節約する生活（エコ暮らし）が必要だと実感しました。

《Ms. W》

次回のぼらんず

※ぼらんずとは、毎月のボランティア清掃です。

雨天中止



11月 15日(日) るんるんごみ拾い まつり古賀会場

詳しくはお問合せください。



# 未来を創ろうインタビュー

No.45 古賀在住のアーティスト

坂崎 隆一 氏

古賀東中学校の『朝勉&朝弁』をご存知ですか。

もともとは、家庭での学習習慣が乏しい子どもの学力を心配した坂崎さんが、朝の自学会「朝勉」を始めました。しかし、なんか元気がない子がいます。「朝ごはん食べた？」  
「いや、食べてない。」そこで、紆余曲折の末、生産者からお米を寄付してもらい、「農村加工所まんま実～や」で安くおにぎりを握ってもらう「朝弁」を足して、現在の「朝勉&朝弁」になりました。（費用はPTA OB会の寄付だそうです。）

実施は週に2日。「毎日やっては。」の声に、残りの日は「自分でどうにかするでしょう。」と言われます。与えられるだけじゃなく、知恵やくふうで、自分なりのいい方法を考えて欲しいそうです。

また、夜は「塾」を、ボランティアで運営されています。近くに塾がないのです。これは、生徒から月謝をもらい、先生には、ちゃんとしたアルバイト料を支払うものです。ただ、普通と違うのは、月謝が経費を超えたら、生徒にお金を返却するシステム。このおかげで、月謝の未払いがなく、督促の手間も省けるとか。

この他にも「ならでは」のくふうがあります。アルバイトの先生には、通常よりちょっと高い金額を設定したり、母校出身の大学生に頼んだり、中学の非常勤講師の先生に頼んだり、先生の意欲を掻き立て、ひいては、子どもたちの学力アップに成功しているそうです。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか。

A. 教育（おとなも子どもも）

未来を創る私の思い

**やれることは全部やります**

ことの発端は、「お子さんが通う学校の学力を上げたかったから」とのこと。わが子だけでなく、周りの環境から変えよう、というのが坂崎さんです。もう、お子さんは在学しておられませんが、長い時間をかけて、みんなが自慢できる中学校に育てていくそうです。

お仕事は、アーティストさん。お庭や外回りのデザイン、施工もお手のもの。「これが必要だ」と思われたら、人任せではなく、行政任せではなく、まずは自分で動かれます。今、まちの「しくみのデザイン」でお忙しいようです。

《ひらっち》

